※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１４

令和８年度　福祉科

教科	福祉	科目	介護福祉基礎	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「介護福祉基礎」　（実教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護の基礎的基本的な知識・技能を習得するとともに、介護の考え方について理解してほしい。加えて、介護を必要とする人を生活の観点からとらえ、介護を適切に行うための能力と態度を育ててもらいたい。また、様々な介護課題について、現在その課題への明確な解決策が示されていないものも多い。そうした答えのない課題や問いについて、自分で思考して判断して行動していく姿勢を身につけてもらいたい。そのため、本授業における座学や実習を通して自らの学びを深めてほしい。

2　学習の到達目標

・介護を必要とする人の尊厳保持や自立支援など介護を行う際の基本的な考え方を理解すること
・介護の役割や介護を取り巻く状況について理解し、それらについて自分なりに考え、自分なりの考えを持つこと
・介護の基礎的・基本的な知識、技能を習得すること

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	介護に関する基礎的・基本的な知識、技能を身につける。また、介護の役割や介護を取り巻く諸課題について考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに諸資料から情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身につけるようにする。	超高齢社会である日本における介護を取り巻く課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や知識等を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察して議論する力を養う。そして、介護を必要とする人について、その人を生活の観点からとらえ、その人にとって必要なことは何かを個別の事例として思考できるようにする。	よりよい介護の実現を視野に、現在の介護の諸課題、介護を取り巻く諸問題を主体的に解決しようとする態度を養う。実習において、実際の事例を想定しながら主体的に考え、判断して取り組む。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

※令和４年度以降入学生用

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期（４月～５月）	尊厳を支える介護	その人らしく・尊厳・基本的人権 高齢者の人格と尊厳 障害のある人の人格と尊厳 利用者本位の介護サービス	a:個々の人間の人格・尊厳について理解し、その人の立場にったサービスの在り方について理解している。 b:個々の人間の人格・尊厳について思考し、その人の人格・尊厳を守っていくにはどうすればよいかを自分なりに考え、表現することができている。 c:人間の人格・尊厳について、主体的に考え、学びを深めようとしている。	授業観察	授業観察 ノート提出 感想課題	授業観察 ノート提出 感想課題
	障害者の生活と介護	障害とは 視覚障害者、聴覚・言語障害者の生活と支援 内部障害者の生活と支援 知的障害者の生活と支援 発達障害者の生活と支援	a:障害についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b:障害者の生活や障害の特性の観点から障害者にとってより良い支援方法等について自分なりに考え、表現することができている。 c:障害の特性、障害者について、多角的な視点で主体的に考え、学びを深めようとしている。車椅子実習等の実習にも積極的に取り組んでいる。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題 実習観察
前期・後期（６月～１２月）	高齢者の生活と介護	高齢者にみられる特徴的な症状 高齢者と活動 認知症高齢者 環境の考え方 高齢者の家族関係	a:高齢者と高齢者を取り巻く状況について理解し、基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b:高齢者や高齢者を取り巻く環境について、多面的・多角的に考察して、表現している。 c: 高齢者や高齢者を取り巻く環境について、多面的・多角的に考察して、主体的に学びを深めようとしている。また、シーツ交換等の実習にも積極的に取り組んでいる。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題 実習観察

※令和４年度以降入学生用

	介護福祉の担い手	介護福祉士の養成 介護人材の確保と定着 介護従事者のキャリアアップ研修 介護従事者の社会的地位向上	a:介護専門職の在り方、キャリア等についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b:介護専門職を取り巻く課題について、多面的・多角的な視点から考察し、明確な答えがない課題に対しても自分なりの考えを表現することができる。 c:介護専門職の在り方や抱える課題等について、主体的に考察し、学びを深めている。	授業観察	授業観察 ノート提出 感想課題	授業観察 ノート提出 感想課題
後期（１２月～１月）	介護福祉サービスの概要と連携	介護サービスの利用方法 居宅介護サービス 施設サービス 多職種連携とチームケア	a:介護サービスや多職種連携についての基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b:介護サービスや多職種連携について、多面的・多角的な視点から利用者にとってより良い介護の在り方を考察し、自分なりに表現することができる。 c:現在あるサービスや連携の在り方について学び、主体的にそれらを使って新たなサービスや連携の在り方を考察していこうという姿勢である。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題
	介護福祉サービスの概要と連携	介護支援専門員とケアチームの連携 介護サービス提供の場の特性	a:介護支援専門員の在り方や介護サービスの提供の場の特性における基礎的・基本的な知識を身に付けている。 b:介護支援専門員の在り方や役割について、介護サービス提供の場の特性を踏まえて考察し、自分なりに表現することができている。 c:介護支援専門員の在り方や役割について、主体的に多様な可能性を考察する姿勢がみられる。	授業観察 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題 定期考査	授業観察 ノート提出 感想課題

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度